

祝 2021合格体験記

佐世保北高卒

ハンドボール部 主将

篠崎 琢海くん

千葉大学

国際教養学部 国際教養学科 **合格**



苦手な数学を鍛えることができた！

僕は数学が中学の頃から大の苦手でした。高校の数学が不安で仕方なかったのも入塾の理由の一つです。数学の受講では先生方の解説がとても分かりやすく、じっくり取り組むことができましたが、修了判定テストには苦戦しました。普通の人には1、2回で合格するのところを僕は3、4回かけてやっとSS判定をとっていました。多い時は7回受けた記憶もあります。しかし、毎回諦めず、後回しにせずに修了テストと向き合ったことで、数学力とメンタルが鍛えられました。共通テスト本番でも、最低限の点数が取れました。僕のように数学が苦手な人でも諦めずに頑張ってください！

解説授業をうまく活用しよう！

東進模試は解説授業とセットで取り組むことで力がつきました。模試の解説授業は、問に対する解説だけではなく、関連する背景知識や時間配分の仕方、今後の勉強法についてのアドバイスといったことを得る機会でもあります。僕は模試後の解説授業を受けるようになった頃から世界史と政経が特に伸びました。共通テスト過去問演習と二次対策の解説授業も同様に、新たな知識を手に入れるチャンスです。問いに対し答えること以外にも、適切な時間配分をすること、効率的な方法で日々勉強することも大切です。そうした総合力を養うためにも東進模試や過去問演習は効果的です。

志望大学の入試に英検が役に立った！

僕の大学の志望学部は、英検の準一級を取得することで二次試験の英語が満点になる制度があったので、高3の初めは優先して英検の勉強をしました。なんとか合格して、二次の勉強は英語以外に集中することができました。英検を取得していると有利になる大学、学部は少なくないので、外部試験にも積極的に挑戦するのがいいと思います。英語において特に意識していたことは音読です。音読はできるだけネイティブの音声聞き、よくマネをして発音することが大事です。単語学習と合わせて、目と耳と口を使い学習するとリスニングの力もつきます。英語は体得していくものです。